



季節と彩る

K019D1231 茅野 季丈

・周辺調査

駅のすぐ目の前にあり、老若男女多くの人が集まる自然豊かな公園。一番の特徴は公園の名前の通り、中央の池。この周りを中心に様々なアクティビティが行われている。そして、春秋には桜やイチョウになる。

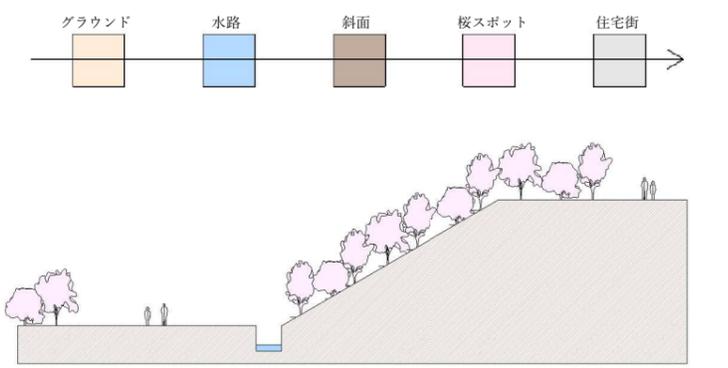
周辺環境は、北側はほとんど住宅街で、南側に駅がある。飲食店や公共施設はこの駅周辺に集まっている。また、周辺には小・中学高が多数あり、全体的ににぎやかで栄えている。



・高低差を繋ぐ

洗足池の北側は高低差が激しく、それぞれが魅力的な空間にもかかわらず、独立した空間となっていた。そこで、その原因となっている桜山の斜面にそれらを一直線につなげる建築にした。

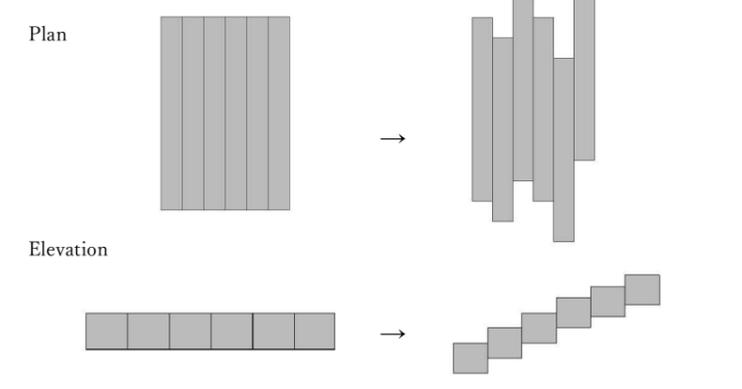
本来あった魅力を壊さないためにも、建物の高さをなるべく抑えた。構造や内装は、できるだけ自然の中にいることを感じられるように、「木」を多く使った空間にした。



・地形に合わせる

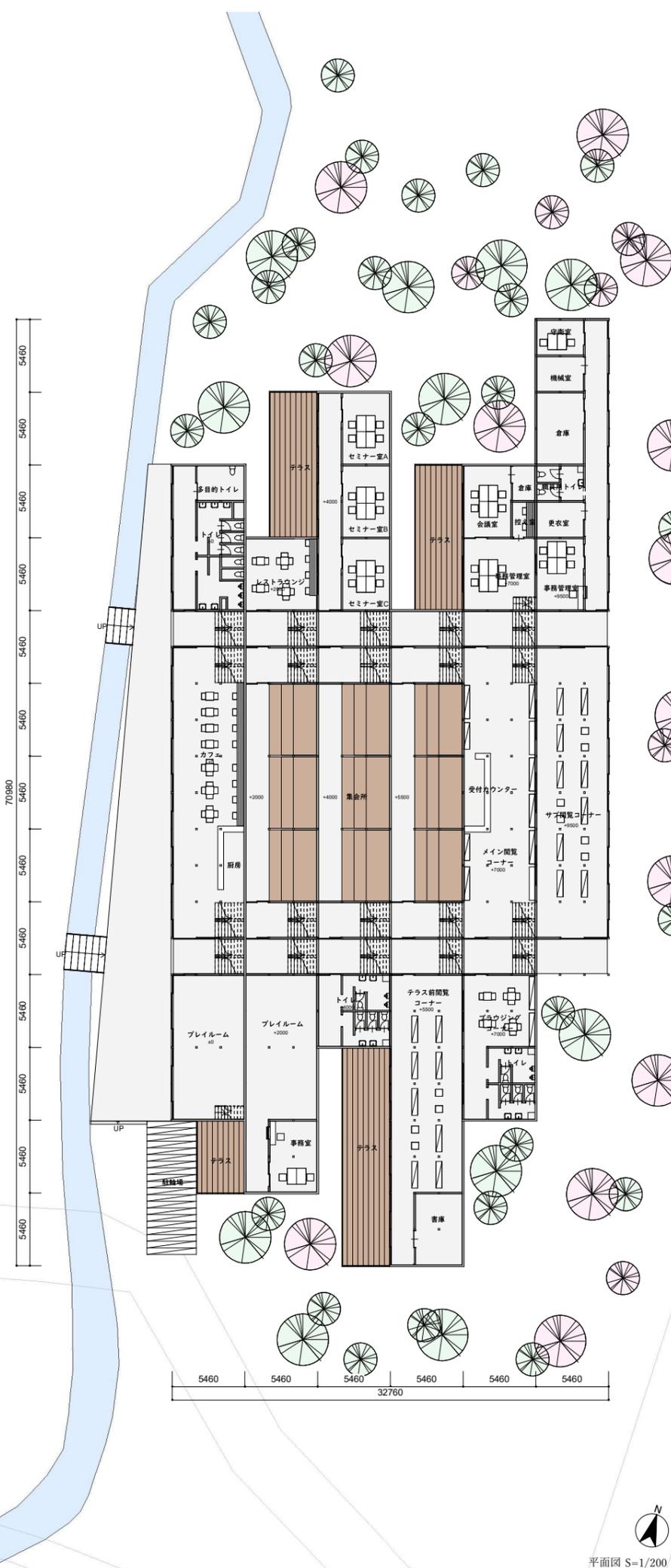
等高線に見立てた複数の長方形を各々ずらし、高さ方向も斜面に沿うようにずらした。それによって生まれた高低差により、いままで遮られていた視線が開けた方向へと抜けるようになった。

段々にずれた平屋にすることで、本来あった景観を壊さず、自然に埋もれるようにした。



・配置図





カフェ

見通しの良い開放的な空間の休日も利用可能なカフェ。グラウンドへの見晴らしも良く、家族や友人同士で訪れ子供はグラウンドで遊んで、大人は談笑しながらお茶ができる。天気の良い日はドアを開放し、正面テラスに椅子と机を出して一体化させて利用できる。都会を忘れ、水路の横で自然を感じながらくつろぐのも良い。



溜まり場

地域の子供たちが集まり、各々が好きなことをして遊べる空間。最近はデジタルが普及し、子供もスマートフォンや携帯ゲーム機で遊ぶ機会が増えたため、場所を問わず友達と遊べるようになりつつある。そういった子供の遊びの変化によって子供たち自身が遊び空間を築いていく。事務室からはトランプやボードゲームといった様々ものを貸し出ししたりしている。



集会所

大勢が利用できる集会場。普段は木製の段部分は収納されており、ダンスやフィットネスなどの軽い運動での利用ができる。講義や発表会といったイベントの際は、規模に応じて木製の段を座席として利用できる。集会所としてだけでなく、地域の学生の作品や工芸品を段差を生かして、展示室としても利用できる。



事務管理室

複数の働く職員の拠点である事務管理室。職員にも利用者と同様に、建物の特徴を感じられる空間。職員専用のテラスもあり、自然を感じる環境で働く。集会所やセミナー室の予約やイベントの受付などを行う。



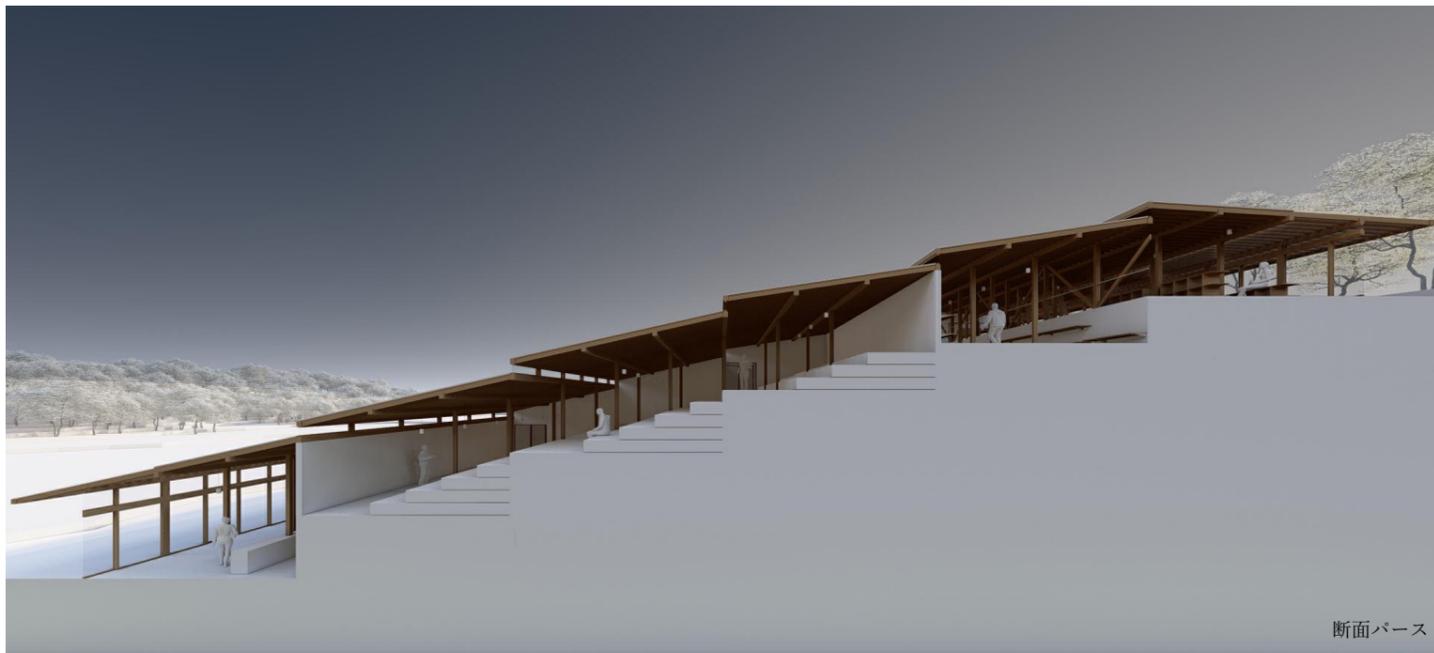
メイン図書コーナー(下)

メイン図書コーナーの下側。受付があり、話題の本や最新の本を置いてある空間。夕暮れ時に屋根の隙間からこぼれ落ちる太陽の光が心地よい、静かで落ち着いた空間。花見シーズンには、職員の仮設管理事務場として使われる。



メイン図書コーナー(上)

メイン図書コーナーの上側。様々なジャンルの本が置いてある空間。桜山の頂上に位置しているため、この建築で一番自然を感じられる場所。朝方は木々の隙間からやさしく日がこぼれる。春の花見シーズンには、この場所を開放し地域の人がシートを敷いて花見を楽しめる空間に変わる。その際はドアを開放し、桜山の自然と一体化する。



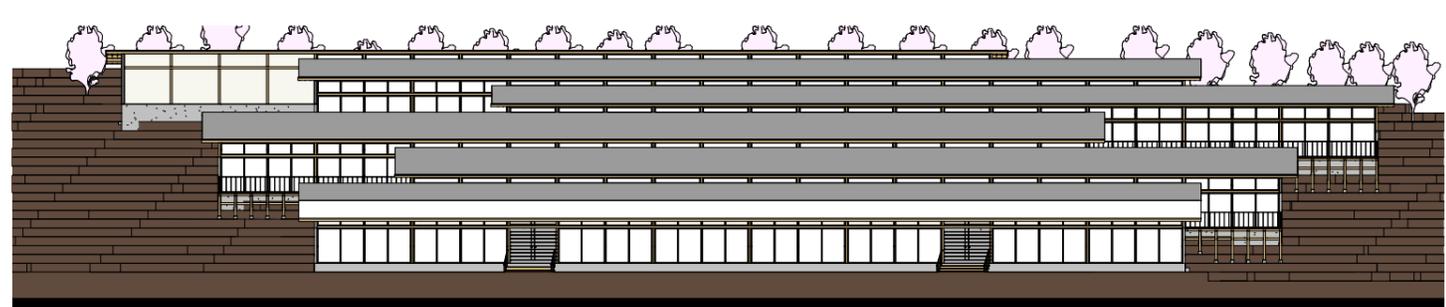
断面パース



正面パース



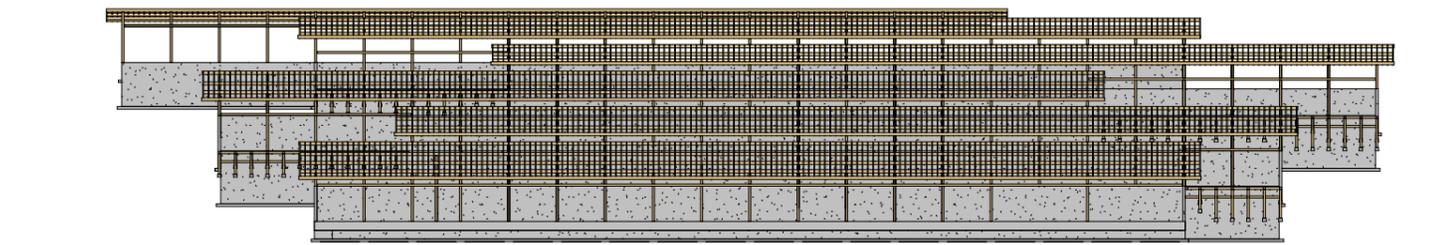
・南側立面図 S=1/200



・西側立面図 S=1/200



・断面図 S=1/100



・軸組

概要

季節と彩る

所在地／東京都大田区南千束 洗足池公園 桜山
使用用途／コミュニティセンター

構造・構法

主体構造・構法 RC+木造
基礎 布基礎

規模

階数 地上1階
最高高さ 13550mm
延床面積 1609.8㎡

床面積内訳

交流 208.68㎡
図書 298.82㎡
集会 357.74㎡
地域 149.09㎡
管理 238.49㎡